

## 令和5年度事業計画（4号議案）

### 豊中駅前まちづくり推進協議会が大切にしていこう

「いろいろな人が集い、交わりみんなが楽しく暮らせるまち」

令和5年度のまちづくり協議会は以下の4つの言葉のもと、さまざまな個人や団体との連携を図り具体的な取り組みを進めていきます。

1. みんなで育てるまちづくりに取り組む
2. ゆっくり楽しく歩き回りたくなるまち
3. 新しい発見・感動があり、自己表現・自己実現できるまち
4. 誰もが安心して暮らせる（居心地の良い）まち

豊中駅前まちづくり推進協議会は約30年に渡って活動を続けてきました。

この期間、豊中駅周辺の様子も変わり、「まちづくり」の在り方や「まち」に求められるものも変化していることを強く実感しています。

令和5年度の豊中駅前まちづくり推進協議会は、これまで続けてきた「スクランブル交差点改良」など道路・交通の安全の課題対応や開発事業への要望活動とともに、「まち（豊中駅周辺）にとって大切にしたいもの」を見定め、それを守り続けるための取り組みを続けていきます。さらに、「未来」を見据え新たなアイデアや知恵を積極的に取り入れながら行動し、情報発信を続けていきます。

**豊中駅前まちづくり推進協議会は「このまちのみんなの協議会」である。**

この思いを大切に求められる役割を果たしていきます。

多様な意見や考えに耳を傾けながら、まちに関わる個人・団体等とより良いまちのあり方について話し合いを重ねる「場」となるよう最大限努めます。

「これから先の時代」を見据えながら、子どもも大人も夢や愛着を持ってこのまちと生き、その喜びを分かち合えるようなまちであるように…。そのような思いのもと自らの行動を振り返りつつ、多くの人の声に耳を傾け、相互理解を試みながら「今できること」に全力で取り組んでいきます。

## 令和5年度の重点的な取り組み

- 1 まちの在り方については「子ども」から「お年寄り」まで誰もが歩きやすい環境づくりを進めるのはもちろん、「ふと歩き回りたくなる」「訪れたくなる」ようなまちづくりに取り組みます。
  - 1.1 歩道が狭く安全性について指摘されている道路のあり方や、車・自転車による危険な走行については「命に関わる大切な問題」であると考え、関係機関との協議を進めていきます。
  - 1.2 安心・安全に歩き回れるのはもちろんのこと、歩き回りたくなるような魅力的なまちになるように「未来」を見据えて、みんなでまちの夢を描けるような取り組みを進めていきます。
  - 1.3 時代の変化に即した「交通事情のあり方」はまちを利用する人の声を集めながら専門家や行政担当課等とも話し合いを重ね、その結果を公表していきます。
  - 1.4 「車・自転車の通行」についてはみんなで話し合いを重ね、このまちを利用する一人として責任・自覚のある行動を促しつつ、一緒に安心・安全・快適に過ごせるまちを作っていけるようあらゆる工夫を重ねていきます。
- 2 さまざまな取り組みにより生み出された「つながり」を大切に育みます。
  - 2.1 情報発信のあり方については、まちづくりニュースに加えて公式ウェブサイト・SNS等の利用を積極的に促進していきます。
  - 2.2 豊中駅周辺で「楽しいイベント」や「魅力的な企画」が生み出され、このまちやまちに関わる人の生活が豊かなものになるように働きかけます。
  - 2.3 人と人との関係性がまちに活気をもたらせるとともに、災害時などの備えとなり「人の命」「大切な財産」を守ることにになると考え、「つながり」の意味をみんなで考えながら具体的な行動に活かしていきたいと考えています。

以上の内容については「令和5年度」のみならず、未来を見据えて「5年」「10年」と継続して取り組みながら状況に応じてその内容を充実させていきます。

## 具体的な事業

### 1. まちの情報をみんなで共有します「みんなで育てるまち」

「みんなの協議会」としての役割を果たせるように、活動・取り組み・検討内容やお店情報・イベント・企画なども積極的に発信していきます。

また、「まちへの想いを共有する機会」や「意見を交換する場」などを設け、まちづくりを楽しみながら未来に向けたまちづくりをみんなで進めていきます。

#### 1.1 協議会のウェブサイト/SNSの活用

1.1.1 ホームページを最大限に活用&コンテンツの充実

1.1.2 インスタグラムの開設

#### 1.2 井戸端会議のステップアップ

1.2.1 意見を交わせる場として井戸端会議を継続

1.2.2 みんなで育てるまちづくりを目指す上で協議会と地域住人や商店主・その他まちづくりに関わる人との接点が生まれる場とする

1.2.3 つながりやを育み「みんなで創る場」をみんなで作る

1.2.4 定期的開催し参加者等の意見をもとに改善を重ねる

1.2.5 昨年度全9回実施したさまざまなアイデア意見や提案の活用

1.2.6 井戸端会議参加者に協議会活動や豊中駅前まちづくりの状況をわかりやすく説明し、まちづくりへの参加・参画の機会を設ける

1.2.7 アイデアや意見が形になりまちづくり活動として展開していくためのサポートや情報提供を行う

#### 1.3 まちづくりニュースの活性化

1.3.1 多様な人材による編集会議を目指す

1.3.2 商業者との接点づくりに活かす企画を検討する

#### 1.4 まちづくり活動を「共有」「見える化」する取り組みの実施

1.4.1 人工広場やまちのスペースを活用し、まちづくりに関するトークセッションや井戸端会議などを企画

1.4.2 複数のテーマを設定し、まち歩きを企画

1.4.3 コロナで中断している「自転車運転者への安全運転啓発活動」の実施

### 2. 歩いて楽しいゆとりのあるまちをみんなで考えます

「ゆっくり歩き回りたくなるまち」

#### 2.1 歩いて楽しい、ゆとりあるまちを考える勉強会の継続

豊中市が策定した「豊中駅前周辺再整備構想」を念頭に、豊中駅前の“ゆとりあるまちのイメージ”を多くの人と共有し、検討を重ね具体化の方策を「駅前アクションビジョン」として検討する

## 2.2 豊中市との連携を強化

2.2.1 目標：「官と民のさまざまな立場を踏まえた上で、まちづくりにおける共通の目的を確認し合い、駅前の新しい価値（活動、魅力的なコンテンツ、空間づくり）に官民双方が投資できる状況を作り出し、協働して推進する体制を創る」

2.2.2 都市計画課、都市整備課へ駅前のビジョンと目標が共有できるよう働きかけ、その他まちづくりに関する市の関係部局（魅力文化創造課、産業振興課・コミュニティ政策課など）とも連携を模索する

2.2.3 歩きたくなる居心地の良いまちづくりに取り組む他市への見学会を実施する

例) 池田市の「いけだ駅前活性化プロジェクト

神戸市三宮「サンキタ通り（市道若菜神戸駅線）・エキゾ」

「三宮中央通り」

伊丹市「伊丹酒蔵通り・三軒寺前広場」

## 3. 「みんなで育てるまちづくり」に取り組みます

「新しい発見・感動が生まれ、育まれるまち」「自己表現できる機会・場がたくさん溢れているまち」「ひとりひとりの可能性が活かされ、自己実現できるまち」！このような「夢が描かれ育まれていくまち」であるように、さまざまな取り組みの「種」を撒き「芽」を育み、「花」となるような「土壌」としての役割を果たします。

### 3.1 花いっぱい運動のまちなかへの拡大

3.1.1 駅前の花づくりを中心に活動する環境部会の仲間集め

3.1.2 商店などに育てた花を店頭飾る呼びかけを実施

3.1.3 まちづくりニュースなどで住宅や公園など、周辺で育つ花を紹介し、まち緑化への関心を高める

### 3.2 着物姿でまち歩きなど、楽しい企画をみんなで作る

例) 人工広場でイベント・まち歩きマップづくり

### 3.3 自治会など地域団体やまちで活動するグループ、企業などと交流を図り、連携を模索する

例) 各自治会の会長や役員との懇親会・マンションサミット

カフェサパナや国際交流センターなど外国ルーツの方を支援する団体などと連携を進める

### 3.4 若い世代の学びとまちづくり参画の場をつくる

3.4.1 大池小学校の児童にまちづくりを楽しく学べる企画の提供について教員と相談の上実施

3.4.2 課題研究や吹奏楽部の定期演奏会などにより接点が出来た豊中高校との連携の強化

#### 4. 自転車運転者へ安全走行を促します

複雑なまちの形状や道路のあり方について検討・協議を重ねるだけでなく、自転車を運転する上でのルールについて周知・徹底を図ります。その上で関係各機関との連携・共同の上で、地元の住人や学生、商店主・企業とも協力をしながら一緒に「安心して歩き回れるまち」「魅力的で居心地の良さを感じるまち」を育てていきます。

- 4.1 自転車が歩行者に気遣い、ルールを守って走行するよう「啓発活動」を実施
  - 4.1.1 豊中市の交通政策課と連携し、商店街、自治会など地域団体、豊中高校など学校関係者、企業などとの協議の場を設置します
  - 4.1.2 商店街の歩道での自転車の押し歩きの協力者を増やす取り組みを行います
  - 4.1.3 自転車がルールに則り、車道の左側を安全に走行出来るよう話し合います
  - 4.1.4 自転車の交通ルールの周知を各学校、幼稚園等に要望します
  - 4.1.5 警察官による自転車運転者への指導の強化を要請します